

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に対する声明文

この度のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、明らかに国際連合憲章に反するとともに、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすものであり、昭和60年に平和都市であることを宣言した本市として、断じて容認することができない。

よって、平和都市である海老名市の代表として、ロシアに対し直ちに軍事侵攻を中止し、ウクライナから完全かつ無条件で軍を撤退させるよう、強く求める。

令和4年3月18日

海老名市長 内野 優